

# みんなで防ごう土砂災害

## ～土砂災害から身を守る～

毎年、台風や短時間での集中豪雨などにより、全国各地で土砂災害が頻発し、時には尊い人命が奪われています。いつ、どこで起こるか分からない土砂災害から身を守るもっとも確実な方法は

**「逃げること」**です。

ただやみくもに「逃げる」だけでは確実に身を守ることは出来ません。

どこを通して、どこに避難するか。どのタイミングで避難するか。家族との連絡をどうやってとるか…日頃の備えが大切です。家族や地域の皆さんで考え土砂災害に備えましょう。



倉敷市立郷内小学校の裏山



倉敷市立郷内小学校

写真:平成23年9月の台風第12号による土砂災害

## 土砂災害の種類と前兆現象

一口に土砂災害と言っても、イメージがわからないかもしれません。

土砂災害は概ね次の3種類に分類できます。

それぞれの災害の**前兆現象**を把握しておけば、避難するときに役立つでしょう。

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。

キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

### 地すべり



### 土石流



### がけ崩れ





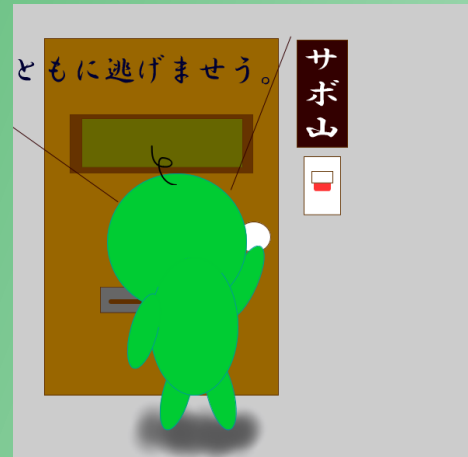
# 逃げるタイミングは？ ～命を守る自主避難～

自主避難によって難を逃れたという例が全国で数多く報告されています。「雨が続けているな」と思ったら、まず何らかの情報を確認してください。自主避難の判断材料となる情報は、テレビ、ラジオ、インターネットや有線放送、防災無線、広報車などを通して提供されています。

自治体や気象庁がインターネットで提供する雨量情報は自主避難の役に立つと思います。少し表現が大げさになりますが、大雨の時には

## 「早すぎる避難はない」

という心づもりでいるぐらいが良いでしょう。



隣近所で声を掛け合って、子供や高齢者などに配慮して避難しましょう

## 土砂災害警戒情報

岡山県と岡山地方気象台は「土砂災害警戒情報」の発表を行っています。

土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害発生の危険性が高まったときに、市町村ごとに発表されます。地上デジタル放送(dボタン)や気象庁のホームページでも確認できます。

## 土砂災害危険度情報

「土砂災害警戒情報」を補う情報として、岡山県が提供する防災情報です。地域の詳細な土砂災害発生の危険性をお知らせします。パソコン、携帯電話、スマートフォンからアクセスできます。

アクセス方法はこちらから ↓↓↓

<http://www.d-keikai.bousai.pref.okayama.jp>



QRコード

## 『泥棒とらえて縄をなう』 ことのないように。

避難のタイミングが分かっても、逃げ方、逃げる場所が分からなければ危険を回避したことはありません。



市町村や町内会で決めた避難施設があれば確認しておきましょう

### ★どこが危ないか調べておきましょう

家の近くに危ないところがないか。市町村が作成している防災ハザードマップなどで危険箇所を調べておきましょう。

### ★どこにどうやって逃げるか調べておきましょう

避難場所や避難場所までの道順を調べておきましょう。災害が起きた時に家族全員が一緒にいるとは限りません。そんな時でも、あらかじめ避難場所を知っておけば安心です。

### ★「非常持出品」を用意しておきましょう

避難する時、まず最初に持ち出すべきものです。被災地に救援物資が届くまでには3日かかるといわれています。

非常時にすぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。缶詰やインスタントラーメンなどの非常食、飲料水、衣類、懐中電灯などを準備しておくといでしょう。

【お問い合わせ先】 岡山県土木部防災砂防課

〒700-8570 岡山市内山下 2-4-6 TEL:086-226-7482 (直通)

〈岡山県防災砂防課ホームページ〉

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/65/>